

富士見校区合同防災訓練実施報告書

防災に関するアンケート調査 ～ご協力のお願い～

問 1. 今日の試験放送は聞こえましたか

1.よく聞こえた 2.まあまあ聞こえた 3.あまり聞こえなかった 4.全く聞こえなかった

問 2. 地震対策として、家具の固定化はされていますか？

1.すべて行っている 2.まあまあ行っている 3.一部行っている 4.まったく行っていない

問 3. 家族の間で、避難場所に付いて話し合いをしたことがありますか？

1.よくする 2.たまにする 3.ほとんどしない 4.まったくしない

問 4. 非常用備品、備蓄はできていますか？

1.はい 2.いいえ

※「はい」と答えた方に尋ねます。どのような備蓄備品を準備していますか？

・非常用食料・水・タオル・軍手・救急セット・ウェットティッシュ・ゴミ袋

・ラジオ・懐中電灯・ホイッスル・ブルーシート・非常用ローソク・防寒用毛布等

○ 上記以外のもので備蓄しているものがあつたら書いてください。

問 5. 困ったときに近所に相談できる人がいますか？

1.多くいる 2.何人かいる 3.ほとんどいない 4.全くいない

問 6. 身近な危険個所を教えてください。(なるべく詳細に。裏面もご利用下さい)

問 7. 今回行った合同防災訓練についていかがでしたか？

1.大変役に立った 2.役に立った 3.あまり役に立たなかった 4.まったく役に立たなかった

問 8. 体育館に AED があることを知っていましたか？

1.以前から知っていた 2.今回初めて知った 3.アンケートで知った

その他ご意見、ご要望がございましたらお書きください。

問1 試験放送について

大清水第10公園(三角公園)に設置されている市内一斉通報用無線による試験放送を行った。当日は災害時と同条件で行ったにも関わらず、「あまり聞こえない」「全く聞こえない」が全体76%という結果となった。

全国的にも、聞こえにくいこの問題が指摘される中で、それを裏付けるような結果となった。これらの課題を踏まえ、豊橋市では今、防災ラジオの普及に努めている。豊橋防災ラジオとは、FM豊橋の電波を使用し、スイッチが切れていても24時間いつでも緊急情報を最大容量で受信できるラジオとなっており、この9月以降からFM豊橋で運用を開始する予定となっている。

問2 家具の固定化について

家具の固定化については、一部を含め約7割の方が家具の固定化を行っていることが分かった。しかし依然として約3割の方が全く行っていないことも判明し今後は校区をあげて啓発活動に努めることが大切だと考える。

東海、東南海地震が懸念される中、当該校区の被害を想定した時、津波による被害については考えにくく、また新耐震基準、いわゆる昭和56年以降建てられた住宅がほとんどであることから、建物倒壊による被害よりも家具等の転倒による被害の方が大きいと考える。

問3 家族の間における避難場所の話し合いについて

避難場所について家族の間で話し合ったことのある方は、「たまにする」を含め71%だった。しかし「ほとんどしない」「まったくしない」が依然として31%に上る結果となった。

災害は家族そろっているときに起こるとは限らず、またいつどんな場面で起こるかわかりません。日常から家族の中で防災について話し合うことが大切であり、定期的に話し合い、家族間で防災意識を高めておきましょう。

問4 非常用備品、備蓄について

非常用備品、備蓄については、約7割の方が何らかの備蓄をしていることが分かった。またどのようなものを備蓄しているかと言うと、最も多かったのは懐中電灯で、水、ラジオと続く。

しかし備品備蓄の充実度にはかなりの個人差があった。このことから、今後は備品備蓄をどのように充実させるか、どのようなものを備蓄すればよいか研究し周知させることが大切だと考える。なお、その他の備品については、別紙の通りとなった。

問5 困った時に近所に相談できる人がいますか？

「多くいる」「何人かいる」を合わせると8割を超えるがこのアンケートの対象者が、子を持つご父兄の方が多くことからこの結果になったと考えられる。

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯について、また普段から地域につながりが薄い方たちを、どのようにして地域とつながりを持ってもらうかが課題と言える。

阪神・淡路大震災において、多くの人が市民によって救助された事例などを考えると災害対応における地域コミュニティの果たす役割は重要である。

問7 今回行った合同防災訓練について

「大変役立った」「役に立った」が8割以上という結果となった。このことは一定の成果があったと考えられる。今回、校区として初めて本格的な防災訓練を実施したが課題も多くあったと考える。しかしまずは第一歩から、少しづつよりよいものに改善していくこと、そして継続して開催していくことが何よりも大切。

今回については、少しでも防災について考える機会を校区全体として取り組む目的で開催した。今後は地域の実情に合わせた防災教育や地域と学校が一体となった防災訓練を行い日常的な防災意識のさらなる向上を図るべきと考える。

問8 体育館にAEDがあることを知っていましたか？

アンケートの調査から、体育館にAEDがあることを知らなかった方が4割以上という結果となった。AEDの設置場所のみならず、その使用方法を知っているかが問題であり、普通救命講習を受講することが大切。

当校区でも、12月に普通救命講習を実施しており、一人でも多くの方が受講されることに期待したい。